

# 平成29年度 8020運動推進特別事業(案)

【目的】 地域における8020運動に対する普及啓発を行うとともに、歯科保健の円滑な推進体制を整備すること。

## 【現状・課題】

- 1 本府では、8020運動推進特別事業を推進し、8020達成者率は33.3%(H24)に改善したが、全国平均(40.2%:H24)より低く、多くの府民が達成するには至っていない。  
また、国は「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」において、**8020達成者の目標を50%以上**となるよう事業を展開していく必要があると方向性を示している。
- 2 歯の喪失予防を推進するためには、主な喪失原因となる歯周病の罹患状況のさらなる改善が必要。  
**※40歳における歯周病有病率(H23)  
大阪府(40.0%) 全国(24.3%)**
- 3 歯周病予防を推進するためには、青年期から早期発見・早期治療の意識を持つことが重要になる。高校までは学校保健安全法に基づき**歯科健診が実施されているが**、高校卒業後、40歳(歯周疾患 検診対象年齢)までは、歯科保健指導を受ける機会が少ない。  
そのため、青年期では**歯科口腔保健に対する意識が高いとは言えず**、青年期における**歯科口腔保健の意識向上を図る必要がある**。  
※青年期における歯周病予防は**従来の事業でカバーされていない**

## 【課題解決策】

大学・短大・専修学校における保健担当者を「**歯と口の健康サポーター**」として養成し、「**歯と口の健康サポーター**」が学校において、学生に対し**歯科口腔保健の重要性について意識づけを行うことにより**、**学生の歯科口腔保健の意識向上を図る**。

## 事業概要

青年期における歯と口の健康サポーター養成事業 (5か年計画 4年目) 【(一社)大阪府歯科医師会委託(予定)】

(1)歯と口の健康リーダー連絡調整会議【開催回数:1回】

事業効果(前年度)について検証を行う。

### 【構成】

- ・歯と口の健康リーダー(地域歯科保健担当医師)
- ・有識者

(3)歯と口の健康リーダーによる学校への普及啓発と実態調査

歯と口の健康リーダーは、各学校保健担当者に**歯科口腔保健の重要性について**、周知広報を行うとともに、担当者に**歯科口腔保健についての動機づけ**を行いサポーター養成研修会への参加を依頼する。

(2)歯と口の健康サポーター養成研修会の実施【2地域で実施】(4)学生に対する歯と口の健康づくり意識調査の実施

【受講者】大学・短大・専修学校における保健担当者

【対象】歯と口の健康サポーター養成研修会参加校に在籍する学生

【内容】ワークショップ形式の研修会により、青年期における**歯科口腔保健の重要性について認識を深める**。

【内容】歯と口の健康づくりに関する**意識調査の実施**し、経年的な**意識変化を分析し事業評価を行う**。

歯と口の健康リーダーは、各学校保健担当者に**歯科口腔保健の重要性について**、周知広報を行うとともに、**担当者に歯科口腔保健についての動機づけ**を行いサポーター養成研修会(平成30年度)への参加を依頼する。  
H26～30年度の5年間で、府内の大学、短大、専修学校の保健担当者に周知広報を行う予定。

# 青年期における歯と口の健康サポーター養成事業の流れ

## 1 歯と口の健康サポーター養成研修会

【受講者】 大学・短大・専修学校における保健担当者

【内容】 ワークショップ形式の研修会により、  
青年期における歯科口腔保健の重要性について認識を深める

※ワークショップ形式の研修会は、受け身の講義形式とは異なり、  
参加者自らが意見交換することにより、問題意識を持つことができる。  
また、意見交換することにより、青年期の歯科口腔保健に対する認識をより深めることができる。

【研修会講師】  
歯と口の健康リーダー

8020 運動推進特別事業

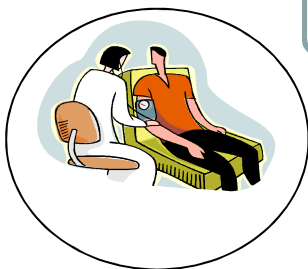
### 歯と口の健康リーダー連絡調整会議

各学校における事業効果（前年度）について  
検証を行う。

事業評価を学校に  
フィードバック

歯と口の健康サポーター 学校へ

### 【大学・短大・専修学校】



歯と口の  
健康サポーター

健康診断等において、学生に対し定期的な歯科  
健診の受診を促す等、歯科疾患予防の重要性に  
ついて意識づけを行う

学生の歯科口腔保健に対する意識の向上を期待

事業終了後も「歯と口の健康サポーター」は  
学校で歯科口腔保健活動を行うことができる

# 青年期における歯と口の健康サポーター養成事業 (8020運動推進特別事業) 事業計画

事業名	4～7月	8～9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①歯と口の健康リーダー連絡調整会議	関係団体等における打ち合わせ		歯と口の健康リーダー 連絡調整会議					平成29年度8020運動推進特別事業検討評価委員会
②歯と口の健康サポーター養成研修会の実施			歯と口の健康サポーター 養成研修会 (2地域)			学校に対する普及啓発と実態調査 (1)青年期における 歯科口腔保健の重要性について (2)サポーター養成研修会への参加 を依頼する		

# 青年期における歯と口の健康サポーター養成事業(8020運動推進特別事業) 年次計画

		平成26年度 (1年目)	平成27年度 (2年目)	平成28年度 (3年目)	平成29年度 (4年目)	平成30年度 (5年目)	
事業フロー		事業開始	事業実施	事業実施	事業実施	最終評価	
内容	大阪府歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「歯と口の健康サポーター養成プログラム検討会開催」【4回】</li> <li>○「歯と口の健康サポーター養成研修会(試行)」実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「歯と口の健康リーダー連絡調整会議」実施</li> <li>※(事業効果(前年度)についての検証を行う。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○「事業評価報告書」作成</li> </ul>
	歯と口の健康リーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校への普及啓発と実態調査</li> <li>○「歯と口のサポーター養成研修会」への参加依頼</li> <li>※48校への周知を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校への普及啓発と実態調査</li> <li>○「歯と口のサポーター養成研修会」への参加依頼</li> <li>※24校への周知を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校への普及啓発と実態調査</li> <li>○「歯と口のサポーター養成研修会」への参加依頼</li> <li>※30校への周知を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校への普及啓発と実態調査</li> <li>○「歯と口のサポーター養成研修会」への参加依頼</li> <li>※30校への周知を目指す</li> </ul>		
	歯と口の健康サポーター	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「歯と口の健康サポーター養成研修会」への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「歯と口の健康サポーター養成研修会」実施</li> <li>※40校の参加を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「歯と口の健康サポーター養成研修会」実施</li> <li>※24校の参加を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「歯と口の健康サポーター養成研修会」実施</li> <li>※24校の参加を目指す</li> </ul>		
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「歯と口の健康サポーター養成研修会資料」、「歯と口の健康サポーター手引き」、「学生に対する普及啓発用媒体」作成</li> <li>○周知広報学校数：48校</li> <li>○「歯と口の健康サポーター養成研修会」参加校数(サポーター配置校数)：7校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○周知広報学校数：24校</li> <li>○「歯と口の健康サポーター養成研修会」参加校数(サポーター配置校数)：16校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○周知広報学校数：24校</li> <li>○「歯と口の健康サポーター養成研修会」参加校数(サポーター配置校数)：12校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「歯と口の健康サポーター養成研修会」への参加</li> <li>○学生に対し歯科疾患予防の重要性について意識づけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「歯と口の健康サポーター養成研修会」への参加</li> <li>○学生に対し歯科疾患予防の重要性について意識づけ</li> </ul>		

**1年生から最終学年まで、追跡することにより  
学生の在籍期間を通じた事業評価を行うことができる  
(大学の場合4年間)**